

人はみんな、同じように幸せに生きる権利を持っています。それが人権です。
しかし、私たちの身のまわりには、まだたくさんの差別や偏見があります。同和問題をはじめ女性に関する問題、子どもに関する問題、高齢者に関する問題、そして障害者に関する問題など…。こうした問題を解決していくのは私たち一人ひとりの人権意識にほかなりません。

久留米市では、人権尊重のまち・久留米をめざして、人権問題についてともに考え、学びあうために『なるほど人権セミナー2015(8回シリーズ)』を開講します。
多くの市民の方々のご参加をお待ちしております。

<おことわり>内容の一部を変更することがあります。



1 8月21日[金] 田主丸複合文化施設 そよ風ホール 15:00~17:00

『私の歩んできた道』

善導寺教育集会所 従事者 本地 和美さん

部落差別をはじめ、すべての差別をなくすために、教育集会所従事者として、保護者として、そして一人の人間として、様々な出会いの中で学んできたことをお伝えします。

2 9月9日[水] えーるピア久留米 視聴覚ホール 18:30~20:30

『ハンセン病問題と私たちの責任』

弁護士法人 徳田法律事務所
弁護士 徳田 靖之さん

ハンセン病隔離政策が、ハンセン病と疑われた人々を社会から排除する形で苦しめたのは、私たち社会の側にその真の責任がある、ということをお知らせしたいと思います。

3 9月30日[水] 久留米商業高等学校 メディアセンター 18:30~20:00

**『東日本大震災
~当事者に学ぶということ~』**

久留米市立南筑高等学校 (3学年集団)

昨年度、南筑高校の2年生は、修学旅行で福島県を訪れました。行き先の決定から行くまでの取り組み、そして、生徒が現地での交流で感じたこと、学んだことをお伝えします。

4 10月8日[木] 明星中学校 武道場 18:30~20:00

『てんかんについて~親の立場から~』

公益社団法人日本てんかん協会福岡県支部
代表 原 圭吾さん

てんかんは、脳神経の働きによって起こる脳の慢性的な病気です。てんかんをもつ人は、正しい理解をされていないことから、差別、偏見の対象になったりすることも少なくありません。てんかんについて正しく知り、行動するきっかけになれば幸いです。

5 10月16日[金] 江南中学校 武道場 18:30~20:30

『人権の歴史を振り返ろう~教科書記述から~』

久留米市立屏水中学校 校長 牛島 修彦さん

子どもたちは、中学校の教科書で、部落問題についてどんなことを学んでいるのでしょうか?教科書に記述されている一部を紹介しながら、人権問題・部落問題について考えてみましょう。

6 11月11日[水] 高牟礼中学校 多目的ホール 18:30~20:30

『問題行動という名のSOS』

福岡県警 少年課 久留米少年サポートセンター
少年育成指導官/臨床心理士 森 治美さん

「素直で、優しい子だったのに」来談者から聞かれる言葉です。「なぜこの子が問題行動を起こさなければならなかったのか?」その背景に目をむけ、「問題」ではなく、「SOS」として関わっています。子どもたちからのメッセージ、受け取ってください。

7 11月24日[火] 久留米市役所2F くるみホール 18:30~20:30

『性犯罪・性暴力をなくすために』

協働推進部 男女平等推進センター
所長 竹村 美穂さん
相談コーディネーター 石本 宗子さん

久留米市における性犯罪の発生率は、全国的に高い水準にあり、性犯罪・性暴力により、女性や子どもたちが安心して生きる権利を奪われています。その実態と支援体制についての理解を深め、被害をなくす取り組みの第一歩になればと思います。

8 12月10日[木] 久留米市役所2F くるみホール 18:30~20:30

『みんな違ってみんないい』

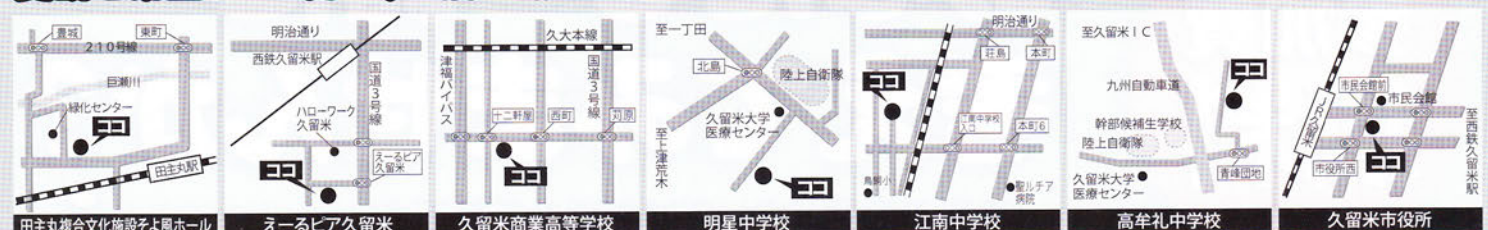
ケアハウスメゾンマリア
前施設長 岡 由紀子さん

高齢社会の中、認知症への関心が高まっています。社会で暮らすみんながお互いのことを理解し合う「共生社会」にむけて、一人一人の尊厳を大事にしていくこと、また、「生きる、生きる、逝く」ことについて、みなさんと共に考えていきましょう。

各回とも手話・一時保育を準備しています。なお、一時保育は事前にご連絡下さい。

受講を希望される方は、直接会場へお越し下さい。

※雨天時は、学校は駐車場として使用できません。
※駐車場には限りがありますので、公共交通機関や乗り合わせでの来場をお願いします。



問い合わせ 久留米市市民文化部生涯学習推進課
一時保育申込先 TEL 0942-30-7970 FAX 0942-30-7971